

Greener Week 2011開催報告

◇期間: 10月24日(月)～11月6日(日)

北海道グリーン購入ネットワークは市民・道民の環境意識をさらに高める、グリーン購入など市民を巻き込んだ行動によって地球環境の保全をより強力に推進するためのイベント週間「始めよう!参加しよう!Greener Week2011」を開催。期間中、北海道大学サステナビリティウィークとの連携企画など多彩なプログラムを展開。

共催/公益財団法人 札幌国際プラザ

後援/環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、グリーン購入ネットワーク

イベント1 Ustream 配信! みんなでつくるオリジナルエコ番組

URL <http://www.ustream.tv/channel/hokkaido-gpn>

【日 時】 10月24日～28日 11:00～18:00

【特設スタジオ】 札幌地下歩道空間(日生ビル向側)

【プログラム】 企業インタビュー、環境イベント告知、エコ商品等のPR、エコ宣言にノベルティプレゼントなど

【参加・視聴者】 約1,000人



31 第3社会 16版 2011年(平成23年)10月25日(火曜日)

企業 保護活動を紹介

道内企業などの環境保護活動を紹介する「グリーンウィーク2011」が24日、札幌市内で始まった。初日は札幌駅前通地下歩行空間内の特設スタジオで、大丸藤井(札幌)や札幌市の担当者がリサイクル事業や省エネ製品を紹介した。道内の企業・自治体約140会員でつくる北海道グリーン購入ネットワーク(札幌)が初めて開いた。一連の行事は11月6日までの

北大 持続可能社会問う

持続可能社会の実現について考える、北大の取り組みをテーマにしたシンポジウムを行う。30日午後1時から、戦論やウイリス学などの北大の若手研究者が最新の研究成果を発表する「GIPPT」を開く。いずれも参加無料。

30日には、学生による企画として、夜間に街灯を消し、廃油から

特設スタジオでは、針を使わないホチキスや、エコバックが展示され、動画中継サイトで「ユーストリーム」で配信された写真。詳細は同ネットワークのホームページで紹介している。

環境考える「ウィーク」開幕

作ったキャンドルなどをとちす「キャンドライス2011」も行う。期間中のイベントの問い合わせは北大サステナビリティ・ウィーク事務局 ☎011-706-8031へ。



プログラム



	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日
11:00	キックオフ ペロタクシー出発 北大中継 スタッフジャンパー授与	Greener Week 2011 各イベントPR 飛入り情報提供	イオン北海道(株) 出演 お客さまとともにすすめる 環境・社会貢献活動	北海道庁 出演 こちら循環情報局	北海道庁 こちら循環情報局 北海道大学 山中 教授&学生 トーク
12:00	Greener Week 2011 各イベントPR 飛入り情報提供	(株)セレスポ 出演 3R推進北海道大会2011PR	札幌国際プラザ プラザ便り 「ミュンヘンクリスマス市」	北大ペロタクシー中継	道経連ニュース 学生団体 アイセック北海道
北大ペロタクシー中継					
13:00	札幌市環境局 出演 イベント情報案内	道経連ニュース イメージワーク(株) GREENを着る 商品紹介	(有)マッシュネット 社長が語る 環境をデザインする日々	岩井さん エネルギープロジェクト ロードマップについて	(株)物林 Mtc木材のクリスマスツリー紹介
環境首都札幌宣言PR映像 (60秒)					
14:00	(株)大丸藤井 今日のセントラル 商品紹介	(株)大丸藤井 今日のセントラル 商品紹介	(株)大丸藤井 今日のセントラル 商品紹介	(株)大丸藤井 今日のセントラル 商品紹介	(株)大丸藤井 今日のセントラル 商品紹介
北大ペロタクシー中継					
北海道ガス(株) 拜啓、あしたのキミへ 叱のくらし (30秒)					
15:00	NPO法人 コンベンション札幌ネットワーク 海外諸事情紹介 プレゼントあり)	NPO法人 北海道市民環境ネットワーク エネルギーチェンジプロジェクト	(株)エコノス ブックOFF	(株)キタデン リユーステナントの促進	北大サステナビリティー 学生企画各イベントPR
16:00	NPO法人 人まち育てI&I まちなか農園コミュニティ	(株)北海道アルバイド情報社 アルキタGREENプラン	北清企業(株) 環境保全が企業活動	Greener Week 2011 各イベントPR 飛入り情報提供	(株)アール・アンド・イー 震災地における簡易アセスメント 判別調査
北海道コカ・コーポラトリング(株) 環境CSRの取組 (約5分)					
(株)アドバコム :エコチル紹介ビデオ放映 (分程度)					
17:00	嬉楽 地球に嬉しい楽しいこと	(株)プリプレス・センター 出演 グリーンエコ年賀状 企業・商品PR	Greener Week 2011 各イベントPR 飛入り情報提供	北海道大学 出演 大沼 准教授	きたネット ラプアース2011 Greener Week 2011 各イベントPR 飛入り情報提供
18:00					

イベント2 Greener になろう！パネルディスカッション

Greenerになろう！持続可能な北海道のために（一般市民向け）
ーグリーン購入促進に向けたパネルディスカッション及び展示ー
（大沼 進 准教授 大学院文学研究科行動システム社会心理学研究室連携企画）



【日 時】 10月30日（日） 13:30～15:30

【会 場】 北海道大学学術交流会館

【参加者】 約40名

【内容】

『一人の100%より100人 の1%を』無理なく進めていくことが、持続可能な社会につながります。学生や研究者、消費者などの代表がパネルディスカッションを行い、それぞれの立場から身近に実践できることを一つでも広げられるよう、意見交換を通じて オール北海道での先進的な取り組みを目指します。

パネリスト： 上山 静一 氏（流通環境経営研究所代表、元イオンリテール（株）常務取役）



【グリーン購入促進の実績と今後の課題】

- ～レジ袋大幅削減と見える化政策を中心として～
- ・マイボトル運動とともに 市民と連携しやすい 「レジ袋削減」についてその意味を伝える。
- ・グリーン購入促進のための環境整備としての 「3Rを具体化した 商品開発」の推進についてその動向を市民と学生に 「事例」をまじえできるだけわかりやすく発表。

パネリスト： 麴谷 和也 氏（グリーン購入ネットワーク事務局長）



【グリーン購入の意義と役割】

・グリーン購入の原則・意義をネットワークの取組などを中心に発表。

パネリスト： 長坂 邦仁（環境社会心理学研究室学生）



【マイバックとマイボトル利用促進のための社会実験】

（環境配慮行動研から）

・レジ袋削減行動調査やマイボトル使用実験の事例などを発表。

パネリスト： そら さん（イラストレーター）



・今まで取組んできた作品等の説明や自らのライフスタイルのなかで環境について実践していること、感じていることなどを発表。

【ディスカッション】

テーマ：環境配慮行動の入口としてのマイボトル利用と更なるグリーン購入促進に向けて

コーディネーター：大沼 進 准教授



・マイボトルの促進に向けたアイデアをもらう。
・更なるグリーン購入促進に向けた具体的実践方法などについて各パネリストからの提案があった。
・4人のパネリスト発表を聞いて、質問に対する各パネリストの回答や来場者による私の出来る1%宣言の紹介を行った。

【来場者の私の出来る1%宣言】	【参加者アンケート回答 感想・意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・すでにやっていますマイボトル ・生ごみのたい肥化 ・レジ袋をもらわない ・不要なものは買わない ・ティーバックの利用 ・自転車の利用 ・節電、省エネ ・商品情報をよく見る ・食品ロスを減らす ・物を大切に使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は気にしないことに気が付かされました ・パネリストの構成、発表がよかった ・参加者が少なかった ・もっと活動を広げてください ・企業として環境に取り組んでもメリットがない ・楽しんでエコができるヒントを ・とても参考になりました ・生ごみのリサイクルについて実績、問題点などを聞きたい ・漠然としていたグリーン購入について解りやすかった ・今後の成果等を聞きたい ・広報が足りないのでは（もっと多くに人を巻き込むため） ・CSRの重要性を感じ、中小企業がどう対応できるかを考える

ロビー展示



そらさんと記念撮影

パネリスト



そら

札幌在住のイラストレーター、絵本作家、フェルト作家
主な代表作に、JR北海道ICカード乗車券「Kitaca(キタカ)」のキャラクター「エゾモモンガ」、北海道観光振興機構「北海道デスティネーションキャンペーン」のPRキャラクター「キュンちゃん」、日常生活でできる、エコな取り組みを紹介した、札幌市の小冊子「さっぽろエコライフ12」(2007年)などがある。ノーススペース所属。



上山 静一

流通環境経営研究所代表
1969年、立命館大学文学部地理学科卒。1969年、ジャスコ(株) [現イオンリテール(株)] 入社。能力開発部長、東海第二事業部長、情報システム部長を経て、ジェーゾーン(株) [パソコン専門店チェーン] 代表取締役社長。ジャスコ(株) [現イオンリテール(株)] 環境・社会貢献部長、イオン(株) グループ環境・社会貢献担当を経て、2008年イオンリテール(株) 常務取締役。2010年、流通環境経営研究所設立、代表に就任。同年、イオン株式会社環境シニアアドバイザー。



麴谷 和也

グリーン購入ネットワーク
事務局長
関西学院大学商学部卒業。
1998年、コクヨ株で初代環境マネジメント部長就任。2000年、グリーン購入ネットワーク代表幹事就任。2004年、コクヨビジネスサービス株取締役を経て現職に。2008年、グリーン購入ネットワーク専務理事・事務局長就任。



長坂 邦仁

北海道大学大学院文学研究科 修士課程
愛知県名古屋市生まれ
富山大学人文学部卒。
現在は北海道大学大学院文学研究科 修士課程に所属
専門は社会心理学で社会的ジレンマや合意形成について研究。

コーディネーター



大沼 進

大学院文学研究科行動システム社会心理学准教授
専門は環境社会心理学。環境配慮行動の促進や環境政策の市民参加などをテーマとして、実験や調査に基づくアプローチをしている。
主な著書「人はどのような環境問題解決を望むのかー社会的ジレンマからのアプローチ」(ナカニシヤ出版)。
平成18年度日本心理学会論文賞受賞、第1回FOST賞(Fusion Of Science and Technology)、日本シミュレーション&ゲーミング学会論文賞受賞。

イベント3 ペロタクシーDE おしゃべり&ECO2011

(北海道大学大学院環境科学院 ES-GCOE プログラム環境教育研究交流推進室連携企画)
学生ドライバーとエコなおしゃべりをしながら大学構内の観光スポットをめぐる。

【日時】 10月24日～11月6日 9:00～16:00

【場所】 北海道大学構内、無料

【乗車数】 約1,000名(2台)



イベント4 Greener バスツアー「自然との共生バイオマス利活用を訪ねる」

自然との共生をアイヌ文化に学ぶとともに、バイオマス利活用施設を訪ねるバスツアーを実施。

【日時】 10月31日(月) 8:00～17:00

【コース】 白老町(アイヌポロトコタン)、苫小牧市(イワクラ 木質再生ペレット、木質再生建材)、
北広島市(バイオガス利用下水処理施設)見学

【参加者】 35名

8:00 札幌駅北口出発

9:30 白老アイヌ民族博物館

学芸員講話「アイヌ民族の自然との共生」

10:30 アイヌ古式舞踊見学

11:30 昼食 アイヌ伝統料理を伝統家屋「チセ」で味わう

12:00 出発

13:00 (株)イワクラ工場見学(木質ペレット、リサイクル木質ボード)

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター・道の駅

15:00 北広島市下水処理センターバイオガス化施設(あしる)見学

17:00 解散



・白老ポロトコタン(アイヌ民族博物館)





アイヌ伝統家屋チセの前で集合写真

▼カイの子供のそらちゃん(1歳)



・苫小牧市(株)イワクラ工場見学(木質ペレット、リサイクル木質ボード)



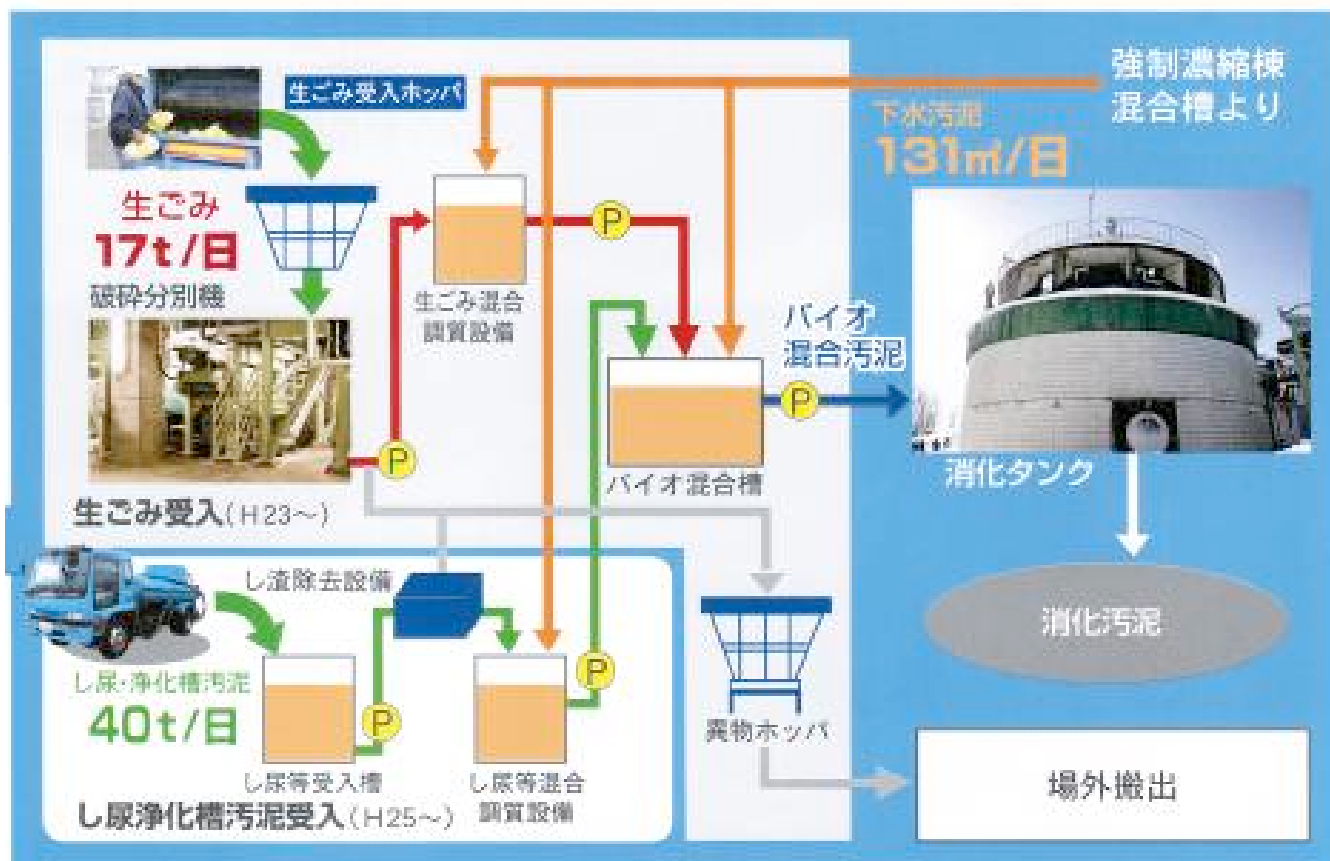
本社社屋及び工場全景





■バイオマス混合調整棟 処理フロー

バイオマス混合調整棟は、北広島下水処理センター敷地内に、家庭から排出される生ごみ、事業系生ごみ及びし尿・浄化槽汚泥等地域のバイオマスを受入れ、下水汚泥と混合・調整し、既存の消化タンクへ送泥する施設です。



イベント5「植林体験」in 札幌白旗山

【日時】 11月6日(日) 8:00~15:00

【内容】 札幌白旗山にてミズナラ約400本を植林し、森林環境保全やCO2吸収に貢献。その後白旗山散策

【参加者】 30名



CO₂積算内訳レポート

平成23年 11月 25日

会議・イベント名	GreenerWeek2011/パネルディスカッション	
会議・イベント種別 (MICE種別)	<input type="checkbox"/> 会議	
	<input type="checkbox"/> コンベンション	
	<input type="checkbox"/> インセンティブ関連	
	<input type="checkbox"/> 展示会	
	<input checked="" type="checkbox"/> イベント	
<input type="checkbox"/> その他		
主催者・後援者等	主催者	北海道グリーン購入ネットワーク
連絡先・メール・URLなど		
開催期間	2011.10.31 13:30~15:30(9:00~17:00使用)	
開催場所(住所)	北海道大学 学術交流会館 講堂	
各人員 (ツールキットで対象となる主体)	参加者(有料)	名
	参加者(無料)	名
	主催者(事務局)	1 名
	来場者	45 名
	講師等	5 名
	その他	名
	合計: 51 名	
ツールキットの利用目的	<input checked="" type="checkbox"/> CO2の見える化	
	<input type="checkbox"/> 環境負荷の低減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定量的なデータ収集	
	<input type="checkbox"/> その他	
会議やイベントでの具体的な環境の取り組み	植林、廃棄物削減、公共交通機関利用促進	

分野別内訳		
会場	0.0 kg	0.0 %
電気・ガス	81.3 kg	13.0 %
移動	431.1 kg	68.7 %
宿泊	20.2 kg	3.2 %
運営事務局・配布物等	28.8 kg	4.6 %
飲食等	66.0 kg	10.5 %
廃棄物	0.0 kg	0.0 %
合計	627.3 kg	100.0 %

